

目 次

巻頭言	板野中学校長 西條 仁
-----	-------------

第 I 部 全同教前日公開授業

公開授業指導案（吉成正土教諭）	
「よせる思い～灯し火であった者たちへ～」	1
指導案	8
全体授業指導案（河野昭一教諭）	17
指導資料（「ふるさと・母より」丸岡忠雄・自作資料）	22
公開授業授業記録	24
全体授業授業記録	32
全体学習を参観して－参観者の声－	42
全体学習を終えて－生徒の声－	48
公開授業を終えて「生きる『いしづえ』として」（吉成正土教諭）	55

第 II 部 全同教徳島大会特別報告（森口健司教諭）

特別報告に寄せて	61
特別報告全文（「峠を越えて」～全体学習・輝ける日々～）	73
特別報告を終えて	
「スタチの苗木」	80
「峠」	83
参会者の声	87

第 III 部 分散会報告

分散会報告全文（富加見正夫教諭）	95
分散会討議	100
報告を終えて（富加見正夫教諭）	119

※ 資 料

「サライ」歌詞	121
谷村新司氏からの便り	122
前日全体学習の案内	123
第46回大会議長総括（同和教育12月号より）	125
全同教の記事より（1994年11月27日徳島新聞掲載）	130
徳島県啓発広報（1995年1月24日徳島新聞掲載）	131

おわりに

巻 頭 言

大会現地スローガン「人権を、やまざと、まちかどのかがやきに（同和教育のさらなる進展をめざして）」を掲げて第46回全国同和教育研究大会（徳島大会）が1994年11月26日から3日間徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市の34会場で盛大に開催されました。

この全国大会の開会行事の特別報告に本校森口健司教諭が全国の先生方に報告をするという榮譽にあずかりました。その中で、部落問題解決を目指した熱い思いと、全体学習を実践していく過程において自分自身が解放されていった体験を元に教師が本音を語り、自己の差別意識を洗い直すことが不可欠であり、部落問題は生徒・教師一人一人の生活と深く関わった自分自身の問題であると語っています。

また、社会認識分科会Bで本校富加見正夫教諭が『ほんまの思いを出し合う全体学習の実践』と題して、板野中学校で取り組んでいる部落問題解決に向かったの実践を発表できるという幸運に恵まれました。

全国同和教育研究大会が徳島で開催されることになった機会に板野中学校の部落問題学習の実践の一部を公開し、全国の志しを同じくする人たちと差別解消に向けての歩みをより確なものにしたいと思うと同時に、大会当日の発表内容が全体学習と深く関連したものであり、11月25日午後に県内外の先生方に全体学習を公開することにしました。

部落問題学習は、常に多くの人に観ていただき、ご意見をいただくことで大きく前進するものと思います。この全体学習の取り組みが多くの学校に広がっていくことを願っています。

この機会に徳島大会の開会行事における森口健司教諭による特別報告、社会認識分科会BでN6富加見正夫教諭の発表、前日の全体学習の公開授業を、とりまとめて冊子となし、記録にとどめることが、今後の活動をいっそう充実させると考え編集しました。

ご一読いただき、ご教示、ご指導をいただくことができれば、今後の実践に活かしていきたいと思います。

板野中学校校長 西 條 仁